

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (静岡と世界を繋ぐマイプロジェクトコース)			訪問国	アメリカ合衆国
学校名	静岡県立静岡高等学校	氏名	杉岡理々華	学年	2年

語学学校は平日のみで、お昼過ぎに終わる日程で行っていたので、午後はフィールドワークやお茶イベントの準備を行っていた。

フィールドワークとして、ジャパントウンやサンフランシスコにある日本庭園などを訪れて日本文化や日本のお茶がどれくらい普及しているのかを調査した。日本の食事や伝統的な着物や食器などがたくさんあり、普通のスーパーマーケットなどにも日本のお菓子が売られていたり、日本の文化がかなり浸透しているを感じた。

静岡県の煎茶の魅力を広めるためのイベントを、留学期間の後半にジャパントウンのショッピングセンターのなかにあるお茶屋さんの一角で行った。私たちが普段部活でお稽古をしている煎茶のお点前を、浴衣を着て披露した。

お茶屋さんに来たお客さんに席を用意し、日本のお茶とお菓子を振る舞う、ということを5回行い、どの会も全ての席にお客さんが入ってくださり、語学学校で知り合った友達も来てくれたりして、好評をいただくことができた。来てくださったお客さんには、Google フォームで作成したアンケートに答えていただき、サンフランシスコで日本茶がどれくらい普及しているのかや、日本茶に対する印象、飲んでいただいたお茶の感想などを調べた。イベントで提供した静岡茶に対しては、少し苦いけど美味しかった、などさまざまな感想をいただき、計24名、11カ国の方にアンケートに回答していただくことができ、私たちがアメリカ合衆国を選んだ理由のひとつである、世界中の人に静岡茶の魅力を知らうことができた。



アンケートの結果、日本茶について聞いたことがあり、知っているという人が100%、飲んだことがあるという人が83.3%だった。お茶のお店に来たお客さんだからというのものもあるだろうが、日本のお茶がかなり普及していると考えられると感じた。

